

権田金属の不燃性マグネシウム 国際協会から優秀賞

伸銅品とマグネシウム圧延品を製造する権田金属工業（本社相模原市中央区、権田源太郎社長）の不燃性マグネシウムを使用した建材が、先月18、19日にカナダのバンクーバーで開催された国際マグネシウム協会（I.M.A.）の年次総会で優秀賞を受賞した。権田社長が受賞のスピーチを行ったほか、同社営業部の田中浩明氏が同製品に関する講演も行った。日

本マグネシウム協会も、低溫鑄造に関する技術貢献で優秀賞を受賞した。

マグネシウムの普及に貢献した技術について、今年は5件の優秀賞が贈られた。同社が受賞したのは、エキスパンションジョイントと呼ばれる、地震等のゆれで吊天井が壊れて崩落しないように振動を吸収する建材。同社のダブルキャスト技術で造った不燃性マ



優秀賞の楯を受け取る
権田社長

グネシウムを用いて、建築資材メーカーのアサヒサンヨー（本社相模原市）が開発した。国土交通省の不燃材認定も取得している。田中氏の講演では、日本以外への販売が可能かといった質問も出るなど注目を集めた。

総会後の晩餐会では、権田社長がI.M.A.会長より記念品の盾を授与された。